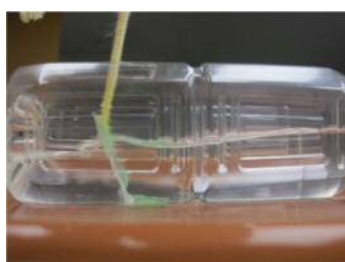


新しい体験学習

津波実験

●津波と表面波(波浪)の違いを観察

ペットボトルに水を入れ断層運動(地震)を発生させます。これにより津波が発生し、水面にひこみができて水平方向に伝わっていきます。次に水面付近を板で前後に動かして表面波の様子を観察します。津波は波長が長いのに比べ表面波では波長が短いのがわかります。団体の場合はカメラを使い大画面で津波の様子を観察できます。



▲津波の動き(左から右へ)



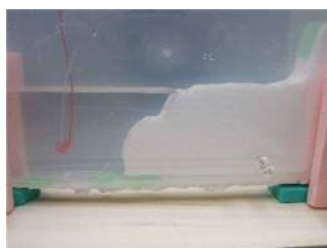
▲表面波の動き



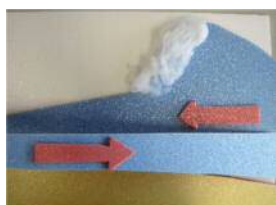
▲大画面で観察

●津波の高さと遡上高(そじょうこう)の違いを観察

プラスチックケースの中に発泡スチロールの陸地を入れ、断層運動を発生させます。津波の高さは平常潮位から海面上昇したその高さの差、遡上高は平常潮位から海岸、内陸へ津波が駆け上がった高さのことです。津波が内陸部を一気に駆け上がる様子が観察できます。



●津波で白波が立つ理由



例えば第一波の引き波と第二波の押し波がぶつかって前面に白波が立ちます。模型を動かして確認してみましょう。日本海中部地震の際にも見られました。

■注意事項

必ず第一波が波が引くとは限りません。いきなり波が押し寄せる場合もあります。